

登別市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	4,544,771	978,683	5,523,454	14.9%	森林整備について活用する。人材育成、普及啓発等についても森林整備にかかる費用を考慮し活用する。
譲与額（円）	28,113,000	8,924,000	37,037,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	意向調査の準備作業	649,143	649,143	森林所有者への意向調査実施のため、森林情報管理システム等を更新
人材育成	その他（人材育成等）	30,000	30,000	次世代の担い手人材育成は、市単独で実施することが困難であるため、道立北の森づくり専門学院を支援する北海道林業・木材産業人材育成支援協議会の賛助会員となり学生の修学支援を実施
木材利用	木材・普及啓発関係	299,540	299,540	子どもたちが木とふれあい、木のぬくもりを感じ、木の大切さを学び、豊かな心を育てる「木育」につながるよう、北海道産材で作られた木のおもちゃを購入し市内子育て支援センター等に設置
基金積立		8,931,109	8,924,000	森林環境譲与税基金積立金（※利子・調整額含む）
合計		9,909,792	9,902,683	

■今後の実施計画

①登別市内の森林整備

- ・森林整備について活用する。
- ・人材育成、普及啓発等についても森林整備にかかる費用を考慮し活用する。

②木材・普及啓発

- ・引き続き、北海道産材で作られた木のおもちゃを購入し、市内保育所・児童クラブ等に設置する。（写真参照）
- ・市役所新庁舎完成（令和8年）に併せ、市民ホールに北海道産木材を使用したテーブルと椅子を設置予定。

